

2022 年度業務実績報告書

提出日 2023 年 1 月 13 日

1. 職名・氏名 教授 吉弘 淳一
2. 学位 学位 教育学修士 専門分野 特別支援教育 授与機関 三重大学 授与年 1992
 学位 社会福祉学修士 専門分野 児童福祉 授与機関 龍谷大学 授与年 1997

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
① 担当科目名 (単位数)	主たる配当年次等 児童家庭福祉論 (2 単位 毎年開講) 2 年生 (2022 年度) 開講
② 内容・ねらい	児童が置かれている環境、社会的な状況を把握することによって、将来児童にかかわる専門分野への関心を高める。また、特に児童ソーシャルワークへの導入を考えた授業内容を展開する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	現在、児童福祉に関わるめまぐるしい法律改正のポイントを段階を追ってまとめ、それぞれの特徴をプリントにして学生に示す。また児童にかかわる現状について、新聞等での解説を含め情報と興味を高める工夫をしている。それをもとに、小テストを実施しながらスモールステップで理解度を高めていく。 視覚教材を取り入れながら現状と教科書との温度差を感じてもらい、理論と実践が組み合わせられるような工夫を行っている。 答えは一つだけではなく視点を変えて様々な考え方を取り入れられるようにグループ発表、レポートの提出を積極的に行っている。
① 担当科目名 (単位数)	主たる配当年次等 家族ソーシャルワーク論 (2 単位 毎年開講) 2 年生 (2022 年度) 不開講
② 内容・ねらい	現代における「家族」の定義、家族のあり方を学生の視点で理解を深められるようにする。家族の成員、一人ひとりの役割を明確化し、お互いが何らかの形で関係しあっていることを考え、家族システム理論の理解を目指す。またマッピング技法の習得も目指す。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	家族療法の面接技術の習得に関して、視覚教材を通して立体的に理解を深める。また、ロールプレイをすることによって、自分自身のスキル向上に効果を促す。 社会人の方が授業に参加しておられることが多いので、その方に現状の施設における家族面接の実際を担当教員とのロールプレイを通して受容を進めている。 答えは一つだけではなく視点を変えて様々な考え方を取り入れられるようにグループ発表、レポートの提出をしている。
① 担当科目名 (単位数)	主たる配当年次等 社会福祉演習 (2 単位 毎年開講) 3 年生 (2022 年度)
② 内容・ねらい	4 年次の卒論作成に向けて、それぞれが興味のある話題を深め、プレゼンテーションの基本を身につける。子どもを取り巻く環境からどのような問題や課題が考えられるのかをゼミ生による発表と意見交換を通じてお互いに学び合う。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫	お互いが理解を深め、個を認め合うことを目指す。その上で個人が問題提起を行えるような工夫をする。特に、実際に保育園、幼稚園、児童館、福井少年鑑別所等に見学に行き、子どもとのかかわりによって子どもを感じ、考えられるように実践を取り入れている。 「Working with Involuntary Clients」をサブテキストとして輪読を行い、それぞれ発表して意見を交換する。 実習との兼ね合いを考え、10 月以降はクライアントへの対応を主に事例研究を行う
(1)講義・演習・実験・実習	

① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 ソーシャルワーク論Ⅳ (2単位 毎年開講) 2年生 (2022年度)
② 内容・ねらい 社会福祉施設、機関の現状を理解し、実習現場においてどのようなスーパービジョンを受けてきたのかをロールプレイを含め理解する。また、一つひとつの言葉の意味とその背景について理解する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 社会福祉施設の現状について視覚教材を取り入れながら授業を進めている。また、感想や疑問点についてレポート提出を行っている。
(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 社会福祉実習および実習指導 (6単位 毎年開講) 3年生 (2022年度)
② 内容・ねらい 社会福祉士として必要な知識・技術・価値、および関連知識への理解を深め、社会福祉サービスの利用者と社会福祉士の援助の実際を学ぶことにより、社会福祉士としての実践力を高める。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 社会福祉施設の現状について視覚教材、実際に現場の職員に講義を受講することで実践と理論の両輪を学ぶ工夫を行っている。
④ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 社会福祉施設の現状について視覚教材を取り入れながら授業を進めている。また、感想や疑問点についてレポート提出を行っている。
(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 スクールソーシャルワーク論 (2単位 毎年開講) 2年生 (2022年度)
② 内容・ねらい 学校教育の現状を理解する中で、社会福祉士 (スクールソーシャルワーカー) としての役割を理解する。スクールソーシャルワーカーとしての必要な知識・技術・価値、および関連知識への理解を深め、学校の実際を学ぶことにより、社会福祉士としての実践力を高める。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学校現場の現状について視覚教材、実際に現場の教員に講義を受講することで実践と理論の両輪を学ぶ工夫を行っている。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表 (2021年1月～12月)
著書
① (単著)「専門家から学ぶコミュニケーション力」晃洋書房 2022年3月30日
② (共著)子どもと保護者に寄り添う「子ども家庭支援論」晃洋書房 2022年4月10日
③ 学術論文 (査読あり)「1本」 「ポジティブシンキングに基づく家族会議実践～子育て支援の向上を目指して～」 (共著)「日本福祉図書文献研究 NO.21 日本図書文献学会」2022年11月
④ 学術論文 (査読なし)「0本」

⑤ 学会発表等「1件」 関西人間学会「F件におけるフリースクールの現状と課題についての一考察」2022年11月
⑥ その他の公表実績
(2) 科研費等の競争的資金獲得実績
(3) 特許等取得
(4) 学会活動等
○学会での役職など 日本福祉図書文献学会 理事 2015年11月～現在に至る 日本学習支援学会 副会長 2015年10月～現在に至る 関西人間学会 副会長 2010年11月～現在に至る 日本福祉図書文献学会学会誌『研究紀要』査読委員 2014年度～
○学会・分科会の開催運営

5. 地域・社会貢献

(1) 学外団体
① 国・地方公共団体等の委員会・審議会 福井県要保護児童地域対策連絡協議会 委員長 2015年～現在に至る 第5次福井県ひとり親家庭自立支援計画委員会 委員長 2017年4月～現在に至る 福井県敦賀市小学生自死第3者委員会 委員長 2020年5月～現在に至る 福井県教育委員会委託中学校・小学校スクールカウンセラー2010年4月～現在に至る
② 国・地方公共団体等の調査受託等 福井県敦賀市小学生自死調査委員会 委員長
③ (公益性の強い) NPO・NGO 法人への参加 NPO 法人「あったかコミュ R みえ・あそび箱 AM」 副代表 2014年4月～現在に至る
④ (兼業規程で業務と見なされる範囲内での) 企業等での活動
⑤ 大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
⑥ その他 令和4年度「青少年健全育成越前市民のつどい」記念講演 フェスタ・ほいく福井 in あわら 2022 第53回福井県民間保育大会 記念講演 10月30日
(2) 大学が主体となっている地域貢献活動等
① 公開講座・オープンカレッジの開講
② 社会人・高校生向けの講座 福井県教育庁義務教育課 家庭教育支援「親の学び合いプログラム集」作成 委員
③ その他
(3) その他 (個人の資格で参加している社会活動等)

- 1月
 - ① 滋賀県東近江市教育委員会研修 第4回 初任者研修「子どもの理解と発達に応じたコミュニケーション」27日
- 2月
 - ① 滋賀県長浜市 第5回長浜市居宅介護事業所研修会「エゴグラムを通しての自己分析」21日
- 3月
 - ① 滋賀県長浜市 令和3年度湖北エリア子ども食堂代表者交流会「コロナ禍における子ども食堂の活動について」10日
- 5月
 - ① 福井県吉田郡永平寺町 永平寺町女性連絡協議会「地域や家庭でのコミュニケーション」11日
 - ② 福井県吉田郡永平寺町 永平寺町要保護児童対策地域協議会実務者会議スーパーバイザー12日
 - ③ 三重県四日市市児童デイサービス AAO「子育てセミナー」19日
- 6月
 - ① 福井市中央公民館 家庭教育事業「子どもの理解と対応の方法について」15日
 - ② 福井県児童館連絡協議会 第1回児童厚生2級指導員研修会「配慮を要する児童の対応」23日
 - ③ 福井県教育庁義務教育課 福井県幼・小・中PTA活動地区別研修会「子どもの自己肯定感と親の関りについて」25日
 - ④ 福井県幼・小・中PTA活動地区別研修会「自己肯定感と親の関りについて」25日
 - ⑤ 坂井市家庭教育支援チーム員研修会「相談業務のポイント」17日
- 7月
 - ① 福井県警察本部研修会「コミュニケーションのポイント」20日
- 8月
 - ① 大野市児童虐待防止研修会「児童虐待への対応について」3日
 - ② 鯖江市保育カウンセラー研修会「気がかりな子どもへの対応について」9日
- 9月
 - ① 滋賀県彦愛犬権利サポートセンター虐待防止啓発講座研修会「ストレスマネジメントについて」1日
 - ② 三重県川越町社会福祉協議会「コミュニケーションのポイント」15日
 - ② 大野市健康長寿課「コミュニケーション力を高めるためのポイント」22日
 - ③ 福井県春山公民館研修会「自己肯定を高め、広げていく方法について」25日
 - ④ 福井市社会福祉協議会 福祉委員スキルアップ研修会「楽しみながらかわる支援のあり方」27日
 - ④ 福井県教育委員会「親のまなびあいワークショップ研修会」19日
- 10月
 - ① 福井市総務部 女性活躍促進課「婚活におけるコミュニケーション」2日
 - ② 福井県警察安全課研修会「人と人との関わりのカウンセリング」
- 11月
 - ① 鯖江市児童厚生員研修会「気になる子どもの理解と対応について」17日
 - ② 越前市婦人福祉協議会親心セミナー「より良い結婚に結びつけるためのポイント10」27日
- 12月
 - ① 保育ステップアップ講座「社会的養護の理解と対応」株式会社グレート 12月8日

6. 大学運営への参画

(1) 役職 (副学長、部局長、学科長)
(2) 委員会・チーム活動
入試制度改革検討委員会 公大協連絡担当 ソーシャルワーク教育学校連盟担当 国家試験支援委員会担当
(3) 学内行事への参加
BBS サークル顧問
(4) その他、自発的活動など